

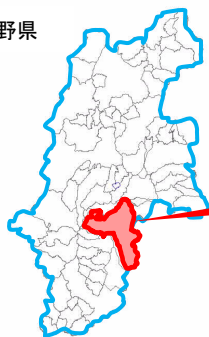
【地域の現状・課題】

- 伊那市は米のほか、果樹、野菜、花卉の生産が盛ん。
- 更なる所得向上には、加工による付加価値向上や販路の拡大等に取り組むことが必要。
- リニア開通の商機を生かすためにも、様々な補助事業を活用して、更なる農業を核とした産業振興を進める必要。
- 有害鳥獣による農作物等への被害が大きく、農林業者の生産意欲低下につながる懸念。
一方、猟友会会員の高齢化が顕著。設置したワナの見回り手間が負担。

・農作物等被害額 約17百万円(R2)
・猟友会会員の平均年齢 65歳

【地域の位置】

長野県



(指定地域: 棚田地域振興、特定農山村地域、振興山村、過疎地域等)

伊那市

中山間地農業ルネッサンス推進事業

- 農協、商工会議所、市役所、農業法人が連携し、特産品創出プロジェクトを実施。地域特産のカブ等を使った漬物やぶどう等の活用を念頭に特産品の開発を推進。

<取組概要>

- ・ 地域の農業者等を対象に事例や補助制度等を学ぶ農産セミナー等を開催。
- ・ 加工施設等の整備のための補助事業活用に向けて、整備内容等を検討。
- ・ 流通業者との意見交換、市場動向調査など、農産物等の販売促進活動を支援。



「やまぶどう」で作った、ワイン、ジュース、ジャム

取組を深化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援 (優先枠等)

- 今後、農産物の高付加価値化に向け、農産物の集出荷施設や加工施設の整備を推進
- 併せて、農産物のブランド化、加工・業務用の農産物導入に向けた基盤整備を推進

【強い農業づくり交付金、農業農村整備関係事業など】

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承 (中山間地農業ルネッサンス推進事業、優先枠等)

- 鳥獣被害防止対策に取り組むとともに、ワナの見回り労力の軽減に向けて、低電力・低コスト通信技術(LPWA)を活用した「くくりワナセンサー」の開発・実証に取り組む。

<取組概要>

- ・ 民間企業、信州大学、プログラマーで構成する「くくりワナセンサー」開発チームを組織し、猟友会の意見を聴きながら開発。
- ・ 試作品を作成し、現地の山林等にて動作試験・検査等を実施。今後、市内で量産予定。



猟友会員による現地説明

事業の効果 (将来構想)

- 鳥獣被害防止対策によって、被害面積7ha減、農産物の被害総額6百万円減を構想し、事業に取り組む。

有害鳥獣被害の防止構想

